



医療法人昭仁会

北野病院

院長 服部・明德



新年明けましておめでとうございます
 昨年は医師の
 話題で2大トピッ
 クスがありました。

2月に天皇陛下の心臓手術があり、陛下はすっかりお元気になられてご公務に復帰なさいました。そして、山中先生がノーベル医学・生理学賞を受賞されました。天皇陛下の執刀医は天野先生で、3浪で日大に入りましたが、現在心臓外科の第一人者です。山中先生は整形外科医師を目指しましたが、不器用で向いていないと基礎医学に転向し、研究を続けて今回の快挙となりました。どちらも並大抵の努力や苦悩ではなかったと思いますが、天野先生のコメントは「有名になったおかげで飲み屋やパチンコ屋に行けなくなった」、山中先生のコメントは「iPS細胞はまだ、だれの命も救っていない。」その言や良し、日本人もなかなか捨てたものではないですね。

さて私も初心に帰って、「病気に困って北野病院に来るすべての患者さんには、私の持てる技量を全て用いて治療にあたります。」今年もよろしく願いいたします。

介護老人保健施設 四季の里

施設長 関・公一



新年明けましておめでとうございます
 昨年は診療報酬と同時に介護報酬の改定がありました。大幅な減額となり、

厳しい一年でしたが、スタッフは笑顔を忘れず、互いにパートナーシップ、リーダーシップを発揮して介護、看護の質向上に頑張ってくれました。今年は昨年の国の無茶な在宅政策の付けが回ってくる予感がします。いまにも介護家庭の崩壊が襲ってきそうです。そんな無策な国から家庭を守るためにも、我々はプロフェッショナルとしてその力を存分に発揮しようと思います。共に感動、共に感謝の心で・・・。

社会福祉法人 栄光会

特別養護老人ホーム ロイヤルの園

施設長 高野澤・一夫



新年明けましておめでとうございます
 昨年度は、4月に介護報酬改定があり当施設としては非常に厳しい内容の改定となりました。多床室の減算、

通所介護の時間区分変更等解決していかなければならない事が山積みでした。サービスの質の向上は職員の協力もあり、各部署が24年度当初に掲げた事業計画を遂行し

てくれたと感じています。また、昨年に続き感染症の流行には徹底した防止策をとっていきます。職員が健全に明るく働ける職場の環境作りを心がけていきたいと思っています。

新しい事業として4月1日に保育園が開設しました。保育事業は介護事業とは異なりますが園長、副園長を中心に早く地元の皆様に信頼が得られるようがんばっています。介護施設との交流会や夕涼み会の共同開催など、高齢者と幼児、児童がいっしょになって楽しめるサービスを目指しています。双方の職員が丸となって、地域に貢献できる施設になるようにがんばりたいと思います。

特別養護老人ホーム さいたまロイヤルの園

施設長 北林 登美雄



当施設も早いもので6回目の新年を迎えることができました。

これも地域の皆様をはじめとし、関連施設の皆様方のご支援とご協力のお陰と感謝申し上げます。

昨年の4月に実施された介護報酬の改正に伴い、デイサービス(通所介護)においてはサービス提供時間帯の変更があり、稼働は上がるものの収入が下がるという状況となり一番影響がありました。この影響を跳ね返すべく稼働の向上に努めております。また、導入して2年目となった入居者の日課表「24時間シート」は、日々充実を重ね、さいたま市の監査指導課からも高評価をいただくまでに成長してきました。日頃の職員一人ひとりの努力が身を結んだものと感じております。法人としては、高齢者分野のみならず児童福祉分野にも挑戦し、所沢市北野において「やまゆり保育園(認可保育所・定員60人)」を4月に開設いたしました。更に、平成25年4月開設する「特別養護老人ホームかわぐちロイヤルの園(川口市西

立野・120床)を整備しており、それぞれの地域社会に貢献できるようサービスの質の向上を目指し、努力してまいりますので、皆様方の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ケアハウス ロイヤルの園

施設長 村田 康二



新年明けましておめでとうございます
 施設長として二度目の正月を迎えました。昨年は入居者のなかに当ケアハウス開設以来、はじめて百歳の方を迎えることができました。その方が元気に散歩される姿を見ながら、入居者の皆様がこれからも安心して、安全な生活ができるようケアハウスを運営し、第2、第3の百歳のお祝いができるような施設を目指したいと思っています。

近年、高齢者住宅も多様化し、高価だった有料老人ホームも安価で健康型だけでなく介護付などの施設や、サービス付き高齢者向け住宅も自立者から要介護者へ対応する施設など、高齢者のニーズに応じた選択肢の拡大が図られています。そのような高齢福祉環境のなかで、ケアハウスも軽費のみでは入居者の確保が難しくなると予測されます。これに対応するには、当ケアハウスが入居者の皆様から明るくて暖かく、家庭的なホームと評価されることが重要であります。そのように評価されるよう引き続き努力して参りたいと思っております。

これからも、皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人社団 隆豊会

常務理事 富島 隆裕



一昨年初、同グループの一員として合流した隆豊会は来年度の啓仁会への合

流合併に向けて、豊川さくら病院、老人保健施設たんぼぼ、居宅介護支援事務所たんぼぼならびに訪問看護ステーションすみれにて、豊川地区で小さなワムタウンを完成させることを目標に大胆な改革を行っています。

今年春には、豊川地区唯一無二の基幹病院である豊川市民病院が徒歩7分程度の場所に新設移転してまいります。この新豊川市民病院を中心に、どうすれば豊川の地に適した真のワムタウン化ができるか、という点を何よりも大事にして、隆豊会内の各施設の連携を高めるだけでなく、地域住民の方々のみならず地域医療施設に必要とされるような組織づくりをしていかねばなりません。啓仁会が培ってきた今までの経験とノウハウは非常に重要で、かつ同時に今迄の常識・習慣にとらわれない新たな発想を吹き込むことが隆豊会には必要です。

現在の医療保険制度並びに介護保険制度の真の意味と今後の方向性を十分に考察しながら、医師を中心とした医療スタッフと、事務方より良い連携を強化すべく、グループのお力をこれからも借りながら、今年も引き続き改革を継続し、豊川ワムタウンを完成させたいと考えております。皆様のご支援をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

豊川さくら病院

院長 竹下 洋基



新年明けましておめでとうございます
 当院も、啓仁会グループの一員として2年目を迎えることになりました。こ

の一年は、組織改変・回復期病棟新設・職員の増員などめまぐるしく経過し、あつという間に感じられました。本年も、まだ完全に体制が固まるとはいかないと思われませんが、職員一同、できる限りの貢献をしていきたいと考えております。

本年5月には、すぐ近く(徒歩7分くらい)に、当地の基幹病院である豊川市民病院が新築移転する予定となっており、連携がますます重要になる年になりそうです。皆様方よりの、変わらぬご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。次第です。

老人保健施設 たんぼぼ

施設長 福岡 正裕



新しい年2013年、スタートしようとしております。

ところで、私事になりますが、昨年6月に、これまで4年間住んでいた静岡県伊東市から、愛知県の豊川市に引っ越しを致しました。啓仁会グループの新しい仲間となった、医療法人社団隆豊会の老健たんぼぼの仕事を手伝うために、老健いという杜から異動と言つ事になりました。この老健たんぼぼは、豊川さくら病院に隣設してありまして、オープンから16年が経過した古い老健であります。介護保険法が施行される前に建築された施設と言う事もあって、いろいろな点で、構造上の欠陥が目立って来ておりますが、そういった中で、職員は、他のどの老健にも負けない質の高いサービスを実現しております。

現在、この隆豊会に於いては、古い体制を一新し、その経済的な基盤を固める為に、抜本的な改革が、富島先生を中心に進められております。

新しい年が、希望に満ちたい一年になることを祈って、これからも、職員一同、頑張つてまいります。皆様の変わらぬご指導ご支援をお願い致します。